

おおさき 市民活動だより

あなたのために
地域のために

みんなのために
社会のために

No.27

大崎市民活動サポートセンター
〒989-6162 大崎市古川駅前大通 1-5-18
TEL:0229-22-2915 FAX:0229-22-9955
E-mail:npo@bz01.plala.or.jp



市民と共に歩むまちづくり

大崎市長 伊藤 康志

新年明けましておめでとうございます。皆様には、希望に満ちた新春を健やかに迎えのことに、心からお喜び申し上げます。

昨年は「復興元年」と位置付け、一日でも早く震災前の市民生活を取り戻せるよう、皆様のご支援・ご協力を受けながら全力で本市の復旧・復興に努めて参りました。お陰様で復旧工事もおおむね完了することができました。

復旧へのめどがついてまいりましたので、いよいよ本年は復興へ向けた取り組みを本格化してまいります。「災害公営住宅の建設」、「カントリーエレベーター建設」、「中心市街地復興まちづくり計画」など、大崎市震災復興計画に基づき、着実に復興に向けて歩みを進めてまいります。

さて、市民活動サポートセンターは大崎市誕生以来、市内の市民活動団体と連携を図り、市民活動を総合的にサポートする拠点施設として機能しております。特定非営利活動法人宮城マネジメント協会を指定管理者として管理運営をお願いしており、この市民活動サポートセンターの指定管理業務も第二期目に入っておりますが、次世代のリーダーの養成や個人のマネジメント能力の開発

を目的とする講座の実施をはじめ、市民活動団体の運営、会計処理や団体設立の相談を行ってきております。地域懇話会も開催し、各地域で活動している団体の交流や情報提供の場を提供しております。

市内で活動している NPO 法人は、設立団体数が年々増加している状況にあり、現在では 32 団体となっております。これもひとえに、市民活動サポートセンターのたゆまぬ努力の成果と感謝いたします。

また、市民活動団体も 100 を超える団体があり、多くの分野で熱心な活動が展開されております。市民の方々のニーズに合ったサービスを提供していくためには、行政と市民の協働が不可欠となります。市民活動サポートセンターには、多くの団体が、自主的、自発的な活動を連携・協力しながら展開し、活力ある市民活動のまちづくりが実現できる体制づくりに期待しているところです。

私は、日頃から、地域の魅力を発見しそれに磨きをかけて「地域の宝」を市民の皆様と創り上げていきたいと申し上げております。その先導的な役割の一翼を担うのが、各分野において積極的に活動される皆様であります。

本年も皆様の活動に更に磨きをかけていただき、「宝の都（くに）・大崎」の実現に向けてご尽力をお願いいたします。

未来ある子供たちに夢と希望、輝く大崎市を残せるように共に歩んで行きましょう。



市民活動活性化のまちづくり

指定管理者 NPO 法人宮城マネジメント協会
会長 高澤 務

新年あけましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。

市民活動サポートセンターも市民活動活性化社会の確立をめざす大崎市の公設施設として七度目の春を迎えさせて頂きました。

これもひとえに市民の皆様及び市民活動団体の方々に、震災の後遺症が残る中施設をご利用頂くと共に諸講座・集いにも多数ご参加を頂き、温かいご支援と励ましの数々を頂いた結果であり心より感謝申し上げます。

昨年は、多くの NPO（市民公益活動団体）が震災復興支援活動に取り組みされました。支援活動への支援を通して“支え合い・助け合い”の大切さ、“血縁・地縁・社縁・行政縁”の大切さを痛感すると共に人間関係の希薄化が進む中、人のつながりを補い成熟した市民社会をめざす市民活動活性化のまちづくりの重要性と、市民公益的活動団体の持つ“絆社会形成の要”としての役割と責任の重さを実感させられる一年でもありました。

昨年 NPO 法が一部改正され●観光の振興●農・山間地

域の振興●自治体条例関連活動の 3 分野が新たに加わり特定分野が 20 分野と公益活動の範囲が広がり、NPO 法人数も全国で 46,500 強となりました。(大崎市:32 団体)リーマンショック後の停滞が長引く中で、日本社会の再生には市民の力が不可欠でありその要となるべき NPO の経営管理力がまだまだ弱い。管理力の確立は、もはや NPO だけの問題だけではなく日本社会の重要課題であると言われるなど、今、NPO に対する関心と期待の高まりがあります。

これらの社会環境の中で市民活動サポートセンターは、市民・行政・地域自治組織・地域諸団体・地域産業団体の皆様との協働連携を図り公益的活動に対する地域社会の“理解と協力”の輪をさらに広げ大崎市のめざす市民活動活性化のまちづくりに向け支援活動を推進していきたいと考えております。

加えて本年は、市民活動団体も各々の立場・視点から経営管理システムの見直し、再構築を求められる年になると考えております。

市民活動サポートセンター並びに市民活動団体に対し市民の皆様方の温かいご支援を頂きますよう心よりお願い申し上げますと共に、市民の皆様方にとって新年がより良い一年となりますよう心よりご祈念申し上げます。

サポートセンターの利用案内 お気軽にご利用ください

■開館時間:午前9時~午後9時まで

■休館日:毎週月曜日・年末年始(12月29日~1月3日)

- 大会議室 250円 / 1時間
- 小会議室 250円 / 1時間

- 印刷機 1枚 2円 (用紙持参)
..... 1枚 4円 (用紙負担)
- コピー機 白黒 1枚 10円
..... カラー 1枚 100円
- 書類保管庫 1ヶ月 200円
- 事務ブース 1日 100円
- 4F 交流フロア 無 料

センター活動紹介 No.1

第7回「おおさき市民活動のつどい」

と き:平成24年12月1日(土)
と ころ:市民活動サポートセンター

今回のつどいは「みんなで考え・みんなで築こう福祉社会」を基本テーマにパネルディスカッションを通じて、福祉と地域活動を考えるつどいを開催致しました。

今年も沢山の方々のご参加により、開催することができました。

パネリストとして、NPO 法人3団体の方々から NPO 活動を通しての討議が行われ、最後にコーディネーターによるまとめで、参加者のみなさんは熱心に耳を傾けていました。

2部の団体交流会では、2団体の方々から NPO 法人の活動紹介をして頂き、NPO 法人の現状の部分では、うなずきながら聴いている参加者の方もおられました。



▲サポートセンター運営協議会会長 木村信一郎氏の挨拶



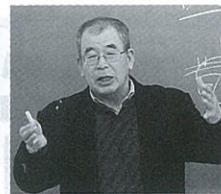
▲市長協働推進部長兼震災復興局長 高橋英文氏の挨拶



▲コーディネーター NPO 法人宮城マネジメント協会 副会長 松倉善昭氏



▲パネルディスカッションの様子



▲パネリスト 「NPO法人小規模多機能型活いきサポート」理事長 加藤芳夫氏



▲パネリスト 「NPO法人みんなの教室」理事長 青木 彰氏



▲パネリスト 「NPO法人ハッピーート大崎」理事長 千島 優子氏



▲会場一杯の参加のみなさん



▲大崎市議会議長 栗田 彰氏より 励ましと感想等を頂きました



▲団体交流発表 「NPO法人輝らら会」理事長 山田法生氏



▲団体交流発表 「NPO法人みやぎアイアイ鹿社会」副理事長 高橋幸治氏



▲閉会の挨拶をする サポートセンター運営協議会副会長 佐藤吉昭氏



【団体交流会の様子】



【感想等語って頂いたみなさん】



「市民活動のつどい」発表者の声

●身近な問題、話題として、聴いて頂いたと思う。知り合いの方も沢山参加していたので、今後の市民活動に活かしていきたい。

【NPO 法人 小規模多機能型活いきサポート: 加藤芳夫さん】

●福祉と教育分野の繋がりの大切さを感じた。子ども・福祉・教育は、分けられないことを再認識した。

【NPO 法人 みんなの教室: 青木 彰さん】

●みんな熱心に聴いていただきました。NPO 法人ハッピーート大崎を知ってもらえる機会を得ました。

【NPO 法人 ハッピーート大崎: 千島優子さん】

●子どもさんの障がい者の福祉についてのお話しと時間があれば具体的な内容を伝えられた。課題等、他の団体にも共感してもらえる機会だった。

【NPO 法人 輝らら会: 山田法生さん】

●パネリストの方々のお話がとても参考になった。自分たちの活動を見直し、役に立つ対応をしていきたい。

【NPO 法人 みやぎアイアイ鹿社会: 高橋幸治さん】

支援企業広告



タダ看板

代表 多田 昌幸

〒989-6223
宮城県大崎市古川字本鹿島149-2
TEL (0229) 24-2536

■事務ブース利用団体募集!

- 利用時期:平成25年4月より
- 料金:一回(一日)100円
- 面積:5.4平米 ●鍵付き

※詳細については、サポートセンターへお問い合わせ下さい。



NPO法人 宮城マネジメント協会

■「おおさき市民活動のつどい」に NPO 法人宮城マネジメント協会会員支援企業様より、ご協賛をいただき厚く御礼申し上げます。

支援企業広告

おき建設株式会社

リフォーム、内装工事、外装工事、屋根・外壁の修理修繕

一級建築士
代表取締役 鈴木 敬逸

〒989-6221 宮城県大崎市古川大宮七丁目3番5号 TEL0229-23-3639 FAX0229-23-2913

◆がんばる市民活動団体◆ 活動団体紹介コーナー

任意の NPO

賢和会「男の台所」古川塾 【男の家事力を高める】～創立5周年を迎えて～

賢和会「男の台所」は、高齢者男性の「食の自立」のための講習会を通してそのお手伝いをしたいというのが目的で設立。賢和会「男の台所」（仙台）より独立して古川塾を設立しました。

昨年で5周年を迎え、グランド平成にて創立5周年記念式典が行われ、100名強の参加で、盛大にかつ終始和やかな雰囲気の中開催されました。式典で挨拶に立った塾長（安海信幸氏）は、「男が家事をすることで、夫婦の会話が増え、感謝の気持ちが湧く。今後も行政等と協働で活動を展開していきたい」と決意を述べました。

伊藤康志大崎市長を始め、関係者の方々から祝辞をいただき、共に活動を支えた行政や調理関係者に感謝状が贈られました。また、会のあゆみを映像で紹介し、多面的な活動に改めて注目いたしました。

会員は約100名。調理実習のほか、俳句会・蕎麦打ち、一昨年の震災で鳴子温泉に避難されている被災者の方々へ、バンド演奏会を行うなど、ここでも活躍振りが発揮されています。

「今後、家事力を高めるキャンペーンを行政と一緒にやっていきたい」と抱負を語っていただきました。

「現在、7期生を募集中です。ご希望の方は、ご連絡下さい。」と、安海塾長は呼びかけていました。（担当：鈴木）



団体名：賢和会「男の台所」古川塾
活動分野：福祉・男女共同参画社会など
代表者：安海 信幸
電話：090-9744-1623
E-mail：nobuyuki1618@mx2.tiki.ne.jp

NPO日記 No.13

団体名：NPO法人 田んぼ
代表者：岩淵 成紀
設立：2006年

特定非営利活動法人（NPO 法人）

「NPO 法人田んぼ」の事務所を訪問させていただきました。元診療所の跡地とあって、その名残がまだあり、人と触れ合う場をそのまま活かしている事務所でした。音楽が流れ、こころが落ち着きます。

NPO 法人田んぼは、農業と生物多様性の共生、田んぼの生き物調査等の活動や、一昨年の震災による田んぼの復興にも力を注いでいます。

理事長の岩淵成紀さんにお話を伺いました。「人間と生態系がどう共生していくのか。そこにポイントがある」「地域の環境を担っていくのは、地域の良さを実践していく若者たちが本気で考えていく社会をつくらなければならない。思いを伝えていく。将来にどうつなげていくのか。幼児からの教育も含め教育とはもっと幅広いアンフォーマルなもの」

「百姓のすこさ、価値を認めて経済的に生きていける社会を築いていく。足元に本当の幸せがある。足元から考える」と語ります。

岩淵さんの元々の教育者としての生きざまが鮮明に表れています。今後、教育・農的な生き方、稲作をどう伝えていくのか。次の5項目を掲げて頂きました。

①大貫の冬水田んぼを極める②地域の大貫小学校と共に年間教育環境の提言③被災地へのネットワークをつくる（南三陸・寒風沢島）④世界の環境条約の中でどう農の豊かさを伝えるのか⑤足元から世界まで軽やかにスタンスを持ちたい。

「NPO だからできる」この言葉に自信と誇りを感じます。また、「環境教育を繋いでいく。育てていきたい」と語る背景に、NPO 法人をつくら原点がそこにあります。（担当：鈴木）



センター活動紹介No.2

市民活動支援講座

と き：平成24年9月15日（土）
テーマ：「チラシのつくり方」



▲実際のチラシを用いて説明する講師の NPO 法人コーディネーター 高澤務氏



◀グループ発表の様子

鹿島台行政区長連合会全委員会議出前講座

と き：平成24年10月4日（木）
場 所：鹿島台総合支所
テーマ：「市民公益活動について」
講 師：NPO 法人コーディネーター 高澤務氏



▲区長連合会全委員会議の様子 出前講座について、「日頃疑問に思っていること等が整理できた」との感想が寄せられました。

来館者8万人迎える記念セレモニー

と き：平成24年9月23日（日）



サポートセンター 8万人目の来館者となった「中国語会話市民サークルのみなさん」。

▲花束を受けた代表の大場さん

第21回市民ミニ講座

と き：平成24年10月26日（金）
テーマ：「知っておきたい消費者基礎知識」
講 師：大崎市消費生活相談員 佐々木真知子氏



具体例も出して頂き「大変参考になりました」等の感想をお寄せ頂きました。

市民活動団体催事訪問

NPO法人ハッピーート大崎

平成24年度 大崎市お口と食で元気もりもり講座

場所：大崎市田尻スキップセンター と き：10/2・16・30・11/13・27・12/11



1	「お口の大切さ」「食べることの大切さ」	そのまんまサツマイモ
2	「口腔清掃実践」「健口体操」	焼きそば・ゆで卵
3	「噛むことの大切さ」「だ液の役割」	オレオ・りんご
4	「のみこむこと：ごっくん」「消化と吸収」	蒸しパン・大根の酢漬け
5	「廃用症候群について」「免疫力を上げる食べ方」	白菜鍋・サツマイモご飯
6	まとめ：いつまでも自分のお口で食べよう	長のり巻き

[3日目:NPO設立時の体験を聞く]
「NPO 法人ハッピーート大崎」
理事長 千島優子氏

[4日目:自己キャリアの洗い出し]
グループ討議の様子

[5日目:お役立ち可能分野を考える]

[3日目:事務局業務者の体験を聞く]
「NPO 法人宮城マネジメント協会」
事務局長 伊藤美佐子氏

まとめ修了証の交付

第4期おおさきNPO塾

と き：平成24年10/20・27
11/10・11/24・12/8

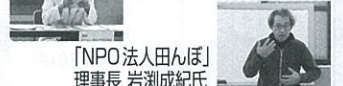
【1日目:NPO 活動を理解する】



講師：NPO 法人
コーディネーター
高澤務氏

【2日目:NPO 活動体験談を聞く】

「NPO 法人鬼首山学校協議会」
副理事長 大沼幸男氏



「NPO 法人田んぼ」
理事長 岩淵成紀氏

支援企業広告

旬味酒菜

Chu Bachi

中鉢

日本料理 会席料理

(有)旬味酒菜 中鉢
(有)キタミ企画
宮城県大崎市古川東町3-46 中鉢ビル1F TEL0229-22-3102

支援企業広告

古川名物 ママも喜ぶ!!

パパ好み

お歳暮、お土産、おやつ、ピールのおつまみに。

(株)松倉 セル松倉

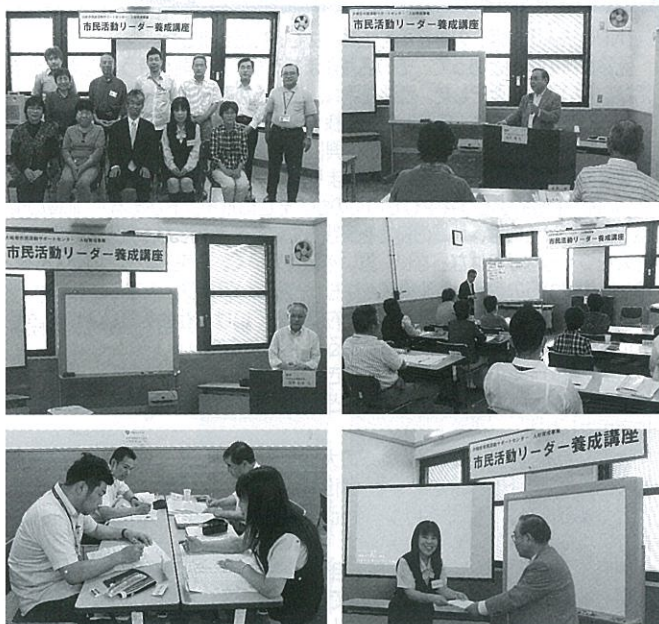
〒989-6172 大崎市古川前田町406 Tel.0229(22)0259・(22)5144
http://www.papagonomi.com

人材育成事業

市民活動リーダー養成講座

社会は今、新たな地域リーダーを求めています

■第13期生修了■



第13期生受講者の声 (抜粋)

この度NPOに関するリーダー養成講座を受講するに当たり少しはNPOについて知っていたつもりでしたが、講義を受ける程に中途半端な知識で臨んでいたか知りました。NPO法人の社会的役割、位置付け、重要性そして設立の仕方、運営、税務等々とても参考になりました。改めてNPO法人に興味をもつことができました。

講義の内容を全て理解できた訳ではありませんが、今後何を軸として活動できるかを研鑽し、今回指導を受けた事を基としてNPO法人設立に向かって仲間を募集し、市民活動の一役となるような新規事業に取り組みたいと思っています。その時には再び良きご指導をよろしくお願いいたします。

大変有益なご講義ありがとうございました。【富澤豊さん】

パワーポイントや、たくさんの資料をもとに概要から運営管理における解説は「NPO、をよく理解せずに仕事していた私には高度な内容でありましたが、大変勉強になりました。

収支計算書が活動計算書に移行するNPO新会計基準に伴う演習を取り入れながらの講座は、基礎的な会計業務の再確認もしながら来年度の業務にむけて、とても参考になりましたし、ほかの参加者とのグループワークを通じて意見交換することで、いろんな視点で学ぶことのできた研修会でした。

労務管理についても、参加者全員が身近なテーマとして、労基法や就業規則の勉強は興味深いものでした。

いただいた資料は、今後の業務に活かし知識を深めたいと思います。【鈴木まさ子さん】

編集後記

一昨年の震災から引き続き支援活動をされているNPO法人。昨今、「NPO法人だからできる」ということを実感しています。今年も、NPO法人、市民活動団体の皆様方のお役に立てるサポートセンターを目指して参りますので宜しくお願い申し上げます。(鈴木)

市民活動リーダー養成講座

第14期生募集 (土・3日コース)

- ◆日 時：平成25年2月開催
- ◆場 所：市民活動サポートセンター
- ◆内 容：市民活動に必要な
 - ①関連法等の概要 ②団体の設立 ③労務管理
 - ④税務・会計管理 ⑤運営管理 ⑥事務局業務
- ◆定 員：20名 (応募者多数の場合は先着順となります。)
- ◆テキスト代：3,000円
- ◆講 師：NPO法人コーディネーター 高澤 務氏
 公認会計士 門傳 基博氏
 特定社会保険労務士 荒井 正昭氏
- ◆申込方法：別紙の申込書に必要事項をご記入の上、FAX又は郵送にて申込下さい。
- ◆申込先：大崎市市民活動サポートセンター TEL0229-22-2915
 問合せ FAX0229-22-9955

この講座は、こんな方々にお薦めの講座です。

- 行政及び関連機関関係者
- 各種公益団体関係者
- 企業関係者
- 市民公益活動団体の代表者・事務局長及び今後市民活動に携わりたいことを希望している方

～市民活動のための施設です。気楽にご利用下さい。～

施設のご案内

1 会議室 (3F・4F)

研修会・会議・講演会などの団体活動に利用できます。

- 収容人員
 小会議室 (4F)：約30名
 大会議室 (3F)：約70名
- 料金：250円/1時間



2 交流フロア (4F)



市民活動団体の情報誌やイベントチラシ等の掲示をしています。人と情報が集まる場所です。打ち合わせや簡単な作業等に無料で利用できます。

3 事務ブース (4F)



1日100円で利用できます。
(1ヶ月30日3,000円)

4 書類保管庫 (4F)



1ヶ月200円で利用できます。

- 5 印刷機 (4F) 用紙持参で1枚2円、紙代負担の場合は1枚4円で利用できます。
- コピー機 (4F) 白黒1枚10円、カラー1枚100円で利用できます。

大崎市市民活動サポートセンター 古川駅前ふるさとプラザ内

TEL0229-22-2915 FAX0229-22-9955
 URL:http://www.npo-osaki.jp/
 E-mail:npo@bz01.plala.or.jp